

## 第7回シンポジウム(名古屋)に関する委員からの意見

本検討会の開催に際し、事前にプログラム検討会の委員のに以下の項目について意見聴取した。

- 1.全体方針（全体テーマ、ターゲット、日割り）
- 2.一般向けプログラム編成（特別講演、パネルディスカッションなど）
- 3.専門家向けプログラム編成（セッション、ディスカッションなど）

## 1. 全体方針について

従来どおりで良い

## 2. 一般向けプログラムについて

## (1) 特別講演の演題/講師

養老猛司先生

## (2) パネルディスカッション

テーマ

「環境問題（環境ホルモン問題）トランスレーター、環境科学ジャーナリスト、環境健康指導士などの育成と、そのシステムの有用性や波及効果について」  
環境教育を行う人材不足が問題となっているため

## 3. 専門家向けプログラムについて

## (1) セッション

「ヒトへの影響」

米国が進めている「胎児プログラミング」や「US National Children Study」については、一人ずつ専門家をお呼びして、お話ししていただくべきである。

一部、毎年同じようなテーマであるという批評もあるが、すごい勢いで進んでいる海外の大型プロジェクトをキャッチアップするのも、環境省のシンポとしては必要であると思われる。

## (2) パネルディスカッション

テーマ

「環境問題（環境ホルモン問題）トランスレーター、環境科学ジャーナリスト、環境健康指導士などの育成と、そのシステムの有用性や波及効果について」  
専門家プログラムでも必要なテーマである。